

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 成学社

コード番号 2179 URL <http://www.kaisei-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 藤田 正人

TEL 06-6373-1595

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,294	13.0	741	4.7	725	6.4	388	17.1
24年3月期第3四半期	6,456	—	707	—	682	—	331	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 388百万円 (17.8%) 24年3月期第3四半期 330百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	66.50	66.20
24年3月期第3四半期	56.97	56.56

(注) 23年3月期より決算期を毎年5月31日から毎年3月31日に変更しております。これに伴い、24年3月期第3四半期と比較対象となる23年3月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注) 24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第3四半期	6,113		2,001		32.7	
24年3月期	5,614		1,663		29.6	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,001百万円 24年3月期 1,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.80	—	8.60	16.40	
25年3月期	—	8.70	—			
25年3月期(予想)				4.35	13.05	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、25年3月期(予想)の1株当たり配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,426	8.3	683	5.3	648	5.0	321	29.4	55.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、25年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	5,841,600 株	24年3月期	5,838,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	260 株	24年3月期	260 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,840,839 株	24年3月期3Q	5,822,225 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数ならびに期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定してそれぞれ算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が内需を牽引しているものの、円高の長期化や新興国経済の成長鈍化等、依然として景気の不透明感を拭えない状況が続いておりますが、年末にかけては経済政策の期待から株価が上昇する等景気回復の動きも見え始めました。

当社グループの主力事業である学習塾業界においては、学習指導要領の改訂等による需要の増加がある一方で、少子化による影響や保護者等の学習塾の選別の基準は厳しさを増しており、業界内での競争は激化しております。

このような状況の下、当社グループでは、クラス指導部門においては、授業内容の充実を図るとともにインターネットによる授業配信システム「開成NET」の提供、個別指導部門においては、大学受験にも強いブランドのアピールとともに映像学習システム「LapMaster」を提供し、当社グループの特色を打ち出すことで事業の拡大を続けております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,294,935千円（前年同期比13.0%増）、営業利益は741,081千円（前年同期比4.7%増）、経常利益は725,701千円（前年同期比6.4%増）、四半期純利益は388,428千円（前年同期比17.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①教育関連事業

塾生数においては、例年ピークを迎える11月末時点の塾生数は25,515人となり、前年同月比2,870人（同12.7%）増加しております。部門別の内訳では、クラス指導部門11,118人（同1,083人、10.8%増）、個別指導部門14,397人（同1,787人、14.2%増）となり、塾生数の増加が売上高の増加につながっております。

また、費用面においては、売上高増加に伴い人件費および教室運営費用が増加しております。さらに、創立30周年を迎え、例年以上に広告宣伝活動を積極的に行っておりますが、売上高の伸びで吸収しております。

この結果、売上高は7,108,914千円（前年同期比13.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,038,603千円（前年同期比7.1%増）となりました。

②不動産賃貸事業

業容の拡大に伴い、所有不動産の賃貸スペースを自社利用に変更したことで、売上高は40,673千円（前年同期比14.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は42,199千円（前年同期比9.8%減）となりました。

③飲食事業

個人消費の低迷等により厳しい環境が続いておりますが、店舗周辺の再開発およびメニューの入れ替え等を行ったことで、売上高は引き続き堅調に推移したものの、集客力向上を優先したメニュー展開を行ったことで、食材の原価率が上昇いたしました。この結果、売上高は145,347千円（前年同期比4.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は8,182千円（前年同期比1.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

流動資産は、前連結会計年度末から442,691千円（21.9%）増加し、2,467,839千円となりました。これは主として営業未収入金が増加し、現金及び預金が215,734千円、商品が19,002千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末から55,732千円（1.6%）増加し、3,645,253千円となりました。これは主として建物及び構築物が前連結会計年度に比べ32,462千円、差入保証金が27,135千円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末から498,423千円（8.9%）増加し、6,113,092千円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末から257,458千円（10.6%）増加し、2,677,426千円となりました。これは主として前受金が増加し、284,339千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末から97,622千円（6.4%）減少し、1,433,721千円となりました。これは主として長期借入金が増加し、86,443千円増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末から159,836千円（4.0%）増加し、4,111,148千円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末から338,587千円（20.4%）増加し、2,001,943千円となりました。これは主として利益剰余金が増加し、337,914千円増加したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は好調に推移しており、前回公表(平成24年5月14日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,087,679	871,944
営業未収入金	630,979	1,350,392
商品	54,052	35,049
貯蔵品	15,805	12,650
その他	275,948	238,518
貸倒引当金	△39,315	△40,715
流動資産合計	2,025,147	2,467,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,887,251	2,033,751
減価償却累計額	△626,866	△740,904
建物及び構築物(純額)	1,260,384	1,292,847
土地	910,950	910,950
その他	389,108	446,425
減価償却累計額	△203,640	△248,027
その他(純額)	185,468	198,398
有形固定資産合計	2,356,803	2,402,195
無形固定資産		
のれん	46,307	35,216
その他	121,792	102,772
無形固定資産合計	168,099	137,989
投資その他の資産		
差入保証金	759,903	787,039
その他	315,714	330,739
貸倒引当金	△10,999	△12,709
投資その他の資産合計	1,064,618	1,105,068
固定資産合計	3,589,521	3,645,253
資産合計	5,614,669	6,113,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,863	55,225
短期借入金	310,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	398,430	387,927
未払法人税等	148,636	175,254
賞与引当金	88,231	22,980
前受金	532,381	816,721
その他	813,426	809,318
流動負債合計	2,419,968	2,677,426
固定負債		
長期借入金	1,149,636	1,063,193
退職給付引当金	16,829	16,829
役員退職慰労引当金	5,475	11,145
資産除去債務	230,448	244,612
その他	128,954	97,941
固定負債合計	1,531,344	1,433,721
負債合計	3,951,312	4,111,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	230,708	230,808
資本剰余金	170,708	170,808
利益剰余金	1,262,879	1,600,793
自己株式	△52	△52
株主資本合計	1,664,243	2,002,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△886	△413
その他の包括利益累計額合計	△886	△413
純資産合計	1,663,356	2,001,943
負債純資産合計	5,614,669	6,113,092

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,456,517	7,294,935
売上原価	4,848,122	5,439,502
売上総利益	1,608,394	1,855,433
販売費及び一般管理費	900,575	1,114,352
営業利益	707,818	741,081
営業外収益		
受取利息	1,332	1,403
受取配当金	130	141
祝金受取額	20	5,850
その他	2,536	4,187
営業外収益合計	4,019	11,582
営業外費用		
支払利息	24,177	22,427
その他	5,616	4,534
営業外費用合計	29,794	26,962
経常利益	682,044	725,701
特別利益		
固定資産売却益	2,907	—
特別利益合計	2,907	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2,844
減損損失	5,838	3,811
特別損失合計	5,838	6,656
税金等調整前四半期純利益	679,113	719,045
法人税、住民税及び事業税	278,789	307,654
法人税等調整額	69,561	22,962
法人税等合計	348,350	330,617
少数株主損益調整前四半期純利益	330,762	388,428
少数株主損失(△)	△944	—
四半期純利益	331,707	388,428

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	330,762	388,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△732	472
その他の包括利益合計	△732	472
四半期包括利益	330,030	388,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,974	388,900
少数株主に係る四半期包括利益	△944	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	6,269,277	47,748	139,491	6,456,517	—	6,456,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	17,931	—	17,931	△17,931	—
計	6,269,277	65,679	139,491	6,474,448	△17,931	6,456,517
セグメント利益	969,491	46,771	8,266	1,024,529	△316,710	707,818

(注)1 セグメント利益の調整額△316,710千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△316,710千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	7,108,914	40,673	145,347	7,294,935	—	7,294,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,467	—	20,467	△20,467	—
計	7,108,914	61,140	145,347	7,315,403	△20,467	7,294,935
セグメント利益	1,038,603	42,199	8,182	1,088,984	△347,903	741,081

(注)1 セグメント利益の調整額△347,903千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△347,903千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。